



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 頼雄 ◆副 会 長 / 掛川興太郎
- ◆幹 事 / 前田 博志 ◆クラブ広報・情報委員長 / 矢島 栄一



2015~2016 年度

国際ロータリーのテーマ

NO. 1301 平成27年12月22日

◆点鐘	渡辺 頼雄 会長
◆SAA	黒田 説成 委員
◆ソング	手に手つないで

【会長挨拶】 渡辺 頼雄 会長

今日は各委員長さんのお話を頂き上半期のまとめの日であります。

理事・役員の皆様、そして会員の皆様、楽しく充実した半年間本当にありがとうございました。

良いお年をお迎え頂き、1月12日には新年の抱負と年男の皆様の決意表明楽しみにしたいと思います。

2015年世界的に大きな変化の年であったと思います。

- 世界の経済の流れが変わりました
- 世界の安全がテロリストに脅かされています
- もう一つ世界で最も大切なもの、たった一つしかない地球環境だと思えます

1992年 国連気候変動枠組み条約が採択

1997年 COP3で京都議定書発行

2005年 米国 京都議定書離脱を表明

CP15 CP17 新しい枠組み検討してきたが実らず

2015年 COP21

”すべての国が地球温暖化対策に取り組む新たな法的枠組み「パリ協定」が採択された。

COP3 京都議定書には最大の排出国 米が離脱、中国が参加していない。

今回は196ヶ国、地域すべてが強調して地球温暖化対策に取り組む体制になる。

今までの先進国、途上国のなすり合い、国のエゴ丸出しは情けなく思っておりました。

PM2.5 中国も頑張っ欲しい、日本と仲良くして環境技術をもっと取り入れきれいな中国になって欲しい。中国に大切な家族もいます。痛切に思います。

皆様にとって来る2016年、健康で明るい年でありますよう、世界が平和でありますよう、お祈り致します。

本年は本当にありがとうございました。

【幹事報告】 前田 博志 幹事

1. 第5回日台ロータリー親善会議案内

日時 2016年6月5日(日) 13:00~

会場 会議・式典 石川県立音楽堂コンサートホール

懇親会 ホテル日航金沢

登録料 2万円

2. 長野県青年防衛協会より「自衛隊ふれあいコンサート」礼状

・当クラブ、12月29日、1月5日例会は休会です。

1月12日(火) プログラムは「新年抱負・年男決意表明」です。

《本日の配布物》

週報1300号、理事会報告

◆出席報告 黒澤 明男 委員長

会員数23名 出席義務者20名 免除者3名

本日 出席 16名

事前MU 0名 80.00%

前々回(12/8) MU 0名 89.47%

◆ラッキー賞

NO. 4 黒田 説成君

神津 恭通君	今月1ヶ月休ませて頂き、有難うございました。長尾さんの奥様より神津さんに撮っていただいた写真をお孫さんが選び使わせていただき、昔の顔そのものだったと喜んでいただきました。と言うお礼の手紙をいただきました。
--------	--

渡辺 頼雄君	本年は誠に有難うございました。来年も宜しくお願いいたします。
前田 博志君	ありがとうございました。
黒田 説成君	来年も良い歳でありますように4番でした
青松 英和君	今年も一年お世話様でした。
小池平一郎君	今日は家内の誕生日です。委員長として反省しきり・・・

◆【本日のプログラム】「上半期を顧みて」

**会員増強委員会 小池 平一郎 委員長**

現在、出席義務者20名、免除者3名計23名の当クラブの重要課題を抱えている会員増強委員会です。神津・黒澤・小林の強力な委員を揃えておりながら、委員長の怠慢にて、7月の会員増強月間に皆様に職業分類表をお配りし、会員候補者推薦のお願いをし、推薦表を配布したのみで、回収も完全に出来ておらず、一覧表の作成にも至っておりません。半年を経過し、ただ唯、反省しきりです。

下半期は頑張らねばと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

**クラブ広報・情報委員会 矢島 栄一 委員長****【広報活動】**

① ホームページも早5年目を迎え、何かしかのリニューアルが必要かと感じていますが、構想の段階で考えあぐねています。

② 他委員会と連携してマスメディアへの働きかけを行っていくということに関しては、

奉仕委員会と協力して10月に行われた甲府一校の強行遠足について、コミュニティテレビこもろに取材の交渉をしたところ、快くお受けいただくことができました。

TVカメラも入って生徒たちの感動的なゴールシーンや市長のインタビュー、橋詰奉仕委員長のインタビューも交え、ニュースの時間に取り上げていただきました。

当たり前のことですが、取材してもらえるような活動を企画・実行していくも必要なんだということを実感した次第です。

【情報活動】

週報では、例会の記録や有益な卓話などを出席できなかったクラブ会員の皆さんや周辺クラブの皆さんにお知らせすることを目的に、見やすい・読みやすいものの提供を心掛けています。

週報に関してご要望がありましたら、ぜひお聞かせください。



クラブ運営委員会 小林 秋生 委員長

クラブ運営委員長と云う重責を仰せつかり、はや半年が過ぎました。

渡辺会長さんをはじめ、役員・委員の皆さんの御指導ご協力をいただき、何とかお役目に取り組んだつもりではありますが、責任の程は自信がありません。クラブ行事の手始めは 8 月 4 日の納涼夜間例会であります、本町のまちや館にて、ご家族親睦で落語会を開催しまし

た。ケータリングのお料理手配など、黒澤委員さんには大変なサポートをして戴きました。大変ありがとうございました。

行事の中で準備が長期にわたり、予算も大きいご家族親睦旅行があります。今回は渡辺会長肝いりでクラブからご家族親睦の雰囲気と、外部への発信も高めようとの思いにより会員御親族から、親しいご友人まで参加を呼びかけ、総勢 28 名の東京一泊旅行を企画・実行致しました。7 月から準備を始め、実行は 11 月 14 日～15 日。新歌舞伎座観劇・隅田川屋形船会席・東京スカイツリー観光と、築地魚河岸のお寿司会食まで、一泊旅行にしては中味の濃さがありました。出発日は、お天気が雨模様ではありましたが、皆さん和やかで大変楽しいバス旅行で ありました。また、この旅行企画と実施について、大変なサポートをお願いしたのが、これまた黒澤明男委員でありました。本当に大変ありがとうございました。私は陰委員長とと思っていますので、これからも何卒よろしくお願い致します。また、いろいろなお役目をして下さいました事務局の掛川さんにも、本当にありがとうございました。

まだまだありますが、長くなりますのでこの辺でおしまいと致します。来年もどうぞよろしくお願い致します。皆さん良いお年を。



出席・プログラム委員会 黒澤 明男 委員長

プログラムによって例会がゴールデンタイムになるかお昼寝の時間になるかといわれています。上半期の卓話はどうだったかチョット気になります。後半は会員の皆さんのご協力で有意義な卓話者を探したいと思っております。「ご推薦」よろしくお願いします。



ロータリー財団・米山記念奨学会委員会 青松 英和 委員長

今年度担当の私は 8 月末に松本で開催されたロータリー財団と米山奨学会の地区セミナーに参加して、財団と奨学会への理解を深めることが出来ました。

10 月には米山奨学生の任思暁さんに卓話をさせていただきました。当日の例会に私は欠席せざるを得なかったため、橋詰さんに私の役目を代行して頂きました。ありがとうございました。

11 月の例会において、会員の皆さんに向けてロータリー活動における財団と奨学会の意義について卓話をさせていただきました。会員の皆様には釈迦に説法のような話であったかと思いますが、時機を見て財団や奨学会の役割を思い起こすことは財団や奨学会を継続させるうえで必要なことであろうかと思ひます。

いずれにせよ、財団や奨学会の継続には会員の皆様のご寄付が必要不可欠です。上半期の会員の皆様の篤志の成果がどのぐらいのものであったかは事務局で把握されていると思いますが、今年度の年間目標の年次プログラム基金 150 ドル(円換算 18,000 円)、米山奨学会寄付目標 20,000 円を達成するべく、下半期の一層のご協力をお願い申し上げます。



奉仕プロジェクト委員会 橋詰 希望 委員長

例会プログラムの担当は9月15日の「新世代月間によせて」と8月25日と11月10日の2回、飯綱山の草刈り、11月17日の職場例会と4回ありました。

職場例会は黒沢プログラム委員長の多大なご協力により小諸市森山の、登録有形文化財塩川家住宅主屋を見せていただき、当主の塩川滋様にお話をいただきました。

江戸時代に小諸藩の藩財政を支えた家ですが、現在の建物は明治27年ごろに建てられた庭園も素晴らしいとても大きなお宅でした。

未来の夢計画の補助金をもらうべく今年度はいろいろ研究をすることになり、甲府第一高校強行遠足を応援することになりました。5月に下見に小諸に訪れた校長先生はじめ担当の先生方と小諸グランドキャッスルで渡辺会長以下数人でお話を伺いました。その席で、小諸市民への理解を深めてほしい。教育の一環で行う行事なので安全に関して何かできるかというお話がありました。

男子は105.7キロの距離を10月3日14時スタートで小諸の最終は翌日14時までの24時間、女子は43.2キロを4日の7時出発で16時の9時間の歩きでゴールは小海です。89回も続く伝統行事で同窓生400名、保護者600名がスタッフとして支えるイベントです。同窓生は50歳になるとスタッフとしての応援が始まり55歳までの5年間で終了します。50歳のスタート時は夜の誘導とか厳しい仕事で始まり、毎年小諸に近づくチェックポイントを任せられ、55歳の年は小諸のゴールを担当するなど、システマティックに運営されています。安全のために医者、看護師さんのOBも大勢駆り出されるそうです。

我々は交通整理などできないので、10月1日に渡辺会長、小山盛夫会員と私の3名で、交通安全のための光に反射する腕章を400本、甲府第一高校に持参しました。お話をいろいろ伺うと、お金や物の協力は求めていないし、あくまでも教育の一環なのでという言葉をいただきました。生徒たちの足を引きずりながらゴールを目指す姿をみて、応援するもの誰でも感動して涙が出てくると思います。

ただ、私たちの奉仕としたら、男子は小諸まで完歩率は50%少して、半数近くの生徒は小諸まで来られない、また女子は小海がゴールで何も応援ができないことを考えると未来の夢計画には難しいと考えます。

8月の八朔相撲には、最初太い竹の要望がありましたが、その後竹については手だてができたということで、子供たちが巻くさらしを贈り、渡辺会長と黒沢幹事代行が神事から出席していただきました。小諸の伝統行事で子供たちの参加も多いので応援していくにはふさわしいと考えます。何より我々に応援や協力依頼のあるものに答えていく活動の方がよいと思います。

10月には小諸市の図書館に併設された市民交流センターに、ベンチを贈り、お祝いの席に渡辺会長に出席いただき目録を贈呈していただきました。ライオンズクラブはオーディオセットを贈るなど、その後高校生によるバンド演奏会など開催し奉仕活動をしています。小諸クラブにも声をかけ同じものを一基ずつ贈りました。図書館から外に出ると私たちが贈ったベンチが置いてあります。ぜひ一度見て座ってみてください。

社会福祉協議会へのチャリティバザーの提供は集まりがあまりなかったようで、来年はもう少しご協力をいただけたらと思います。

次週のプログラム： 1月5日 定款による休会

1月12日 「新年抱負・年男決意表明」 会長・副会長・幹事 黒澤明男会員

次々週のプログラム： 1月19日 「新年会・夜間例会」